

# おれんじ

NO.93

発行日 2023.6.10  
発行・編集 土佐女子中学・高等学校  
高知市追手筋2丁目3番1号  
電話 875-3111(代)

## 木戸耕作先生の思い出

校長 濱田 美穂



発刊のことは

校長 木戸耕作

わたしたちの学校は創立七十周年を迎えて、昨年十月二十八日に盛大に記念式典を行いました。七十年の歴史を振り返ってみますときに、戦後を現代史とみて、それ以前を古代と中世とに区別することができましよう。古代は、学校誕生の時から四代校長の佐竹先生の在任までとし、中村校長着任の時から終戦前後までを、いわば中世とみることもできましよう。古代は、学校の基礎がやや固まった時代であり、その経営がすこぶる困難であったと聞きますが、幾多の方々のご協力によって存続が維持されてきたのであります。私の代になってからは、私学三法の制定と相まって、私学振興の波に乗り、県当局のご配慮、法人の理事長はじめ理事や監事の先生方の御尽力と校友会の人々の母校愛、後援会組織の強化、教職員一致団結の力により、今日の盛時を見るに至りましたが、ここに翻って過去の生い立ちを回想し、肅然たる反省と批判のうち、さらに、高い理想にむかっの躍進を期する次第であります。

昨年、本校は創立百二十周年を迎え、コロナ禍の制限された中ではありましたが、記念式典を行うことができました。式典にはお忙しい中、高知県知事・濱田省司様、高知市長・岡崎誠也様はじめ多数のご来賓の皆様方の列席を賜り、厳かに、かつ、和やかに式典を挙行できました。本校に関わる多くの関係者の皆様方には感謝の気持ちでいっぱいでございます。さて、本校最初の創立記念式典は十周年で、明治四十五年四月十八日に実施されたことが創立四十周年記念誌に記載されています。創立四十周年以降は式典と同時に記念誌が発行されるようになりました。今回はこれまでの記念誌の中から、歴代校長として最も長い四十年九ヶ月の期間を務められた故木戸耕作先生の七十周年記念誌、巻頭の挨拶文を紹介したいと思います。

(昭和四十八年五月十五日  
発行七十年のあゆみより)  
(途中省略)

木戸先生は、私が土佐女子に入学した昭和三十五年にはすでに校長を務めておられました。私たち団塊世代の受験生は千二百余名で、五百十二名が合格いたしました。64人のホームが8クラス設けられ(高校からは、編入生を加え9クラス)、学年の合言葉は「ハッピー64」でした(教室の机が縦8列、横8列に並んでいたことをも覚えていた)。学校は全校生徒数2350余名の大手で、集会時には運動場はぎゅうぎゅうで、イモ洗いの状態でした。創立七十周年誌で木戸先生が述べておられるように私学振興の波に乗っていた時代です。

先生は天神橋のすぐ近く、鏡川のほとりにあったご自宅から、毎日黒いベレー帽をかぶり徒歩で学校に通っておられました。いつも背筋をまっすぐ伸ばされ、黒い革靴を履き、大橋通商店街を颯爽と歩いて通われていました。朝の時間帯の当時の商店街は開店の準備でにぎわっていました。同級生には、自宅が大橋通や帯屋町の友人も多く、彼女たちから、木戸先生のベレー帽での通勤姿が町の名物となっていた話をよく聞かされました。

ふだんの学校生活の中では、校内を黒い革のスリッパを履かれ、よく見回っておられた様子で、授業中先生が廊下を通られると教室の空気がピンと張りつめ、私には緊張感が走りました。また、高校時代、鮮明に記憶に残っている出来事に、東京オリンピックの開催と新

幹線の開通という出来事があります。どちらも私たちが高校二年生の時のことです。巷では毎日のようにこのニュースが流れていました。

そんな時、どうやら土佐女子からオリンピック観戦に出かけるらしいという話が聞こえてきました。最初は噂話だと思いましたが、本当に実現され、驚きました。木戸先生の「生徒に世界レベルの競技を見せたい」というお考えと、「合わせて翌年の県体で活躍させたい」というご意志からの計画だったようです。切符の購入が可能であった、陸上、バスケットボール、バドミントン部の生徒たちと生徒会からも2名が選ばれました。当時引率にあたった松山宏先生の談話から木戸先生のすばらしさが伝わってきます。

「ある日突然校長室に呼ばれ、『切符が取れたので引率を』とのお話があり、最初は何のことかわからなかった。当時のオリンピック熱を考えると、切符を取ることすら困難で、四国の私学でそんなことを考える校長は一人もいなかった。それを実現された校長は本当に尊敬できる方である。またこの年、十月一日に、オリンピックに合わせて大阪と東京間に新幹線が開通した。この新幹線に乗り、東京に向かったが、教員も生徒たちも新幹線に乗るのには初めてであった。私が冗談で「新幹線は土足禁止だ」と話していたところ、生徒が新大阪駅で、本当に靴を脱ぎ列車に乗ろうとして大笑いをした。懐かしい思い出である。オリンピック観戦の後、運動部、文化部は大躍進を見せ、学校はたいへんな

盛況ぶりであった。先見の明があたりだったと思う。」  
(松山宏先生談)

その後、私は昭和五十三年から、母校に勤務するようになったのですが、ある時、校長室に呼ばれ、先生とお話をさせていただいたことがありました。先生は私が中・高校時代と変わらずお元気でしたので、「先生のご健康の秘訣はどのようなことでしょうか?」とお聞きしたところ、「私はある医者に教わり、心臓を下にして寝ないようにし、食べ過ぎないように腹八分目を心がけている」と教えていただきました。以来、私も「心臓を下にして休まない」は実行しているのですが、腹八分目はなかなか思い通りにできていません。先生は生徒たちに「どんな

時でも笑顔を忘れないように」と笑顔の大切さを説き、「スマイルスマイルにつこりスマイル。失意の時も得意の時も、スマイルスマイルにつこりスマイル。スマイル姿はVサイン。スマイル姿は美人の姿。スマイルスマイルにつこりスマイル」の言葉を残され、平成二年五月二日満90歳で現役のままお亡くなりになりました。学校葬が行われたのが、つい先日のことのようです。

現在の本校は、生徒数が当時の半分にも届きません。木戸先生の七十周年誌巻頭のお言葉を借りると、「古代」に戻った状態ではないかと思われまふ。ならば、今度ほどのように「中世」を、そして「近世」「近現代」と歴史を紡ぎ発展させていくか。私は木戸先生から、百三十年とい

う次の節目の年に向かって「死に物狂いで努力せよ」と叱咤激励されていると日々感じながら過ごしております。

先日の放課後、北舎ピロティで演劇部の練習を見学した折、一人の生徒から、「先生五月三日から県下の演劇祭が開催されますが、そこで私たちは頑張って入賞したいと思ひます。私たちの頑張りがすこしでも宣伝になり、小学生がたくさん受験してくれると嬉しいです」という言葉をもらいました。学校を思う言葉がありました。昔も今も、学校を思う生徒たちの気持ちは少しも変わっていないと信じ、その愛校心に応えべく、全力で努力したいと思ひます。

## 令和5年度 高知県高校芸術祭 最優秀賞受賞

演劇部

令和5年5月3日(水)から3日間の日程で第37回高知県高等学校演劇祭が開催されました。会場は追手前高校芸術ホールで、本校の上演は5日(金)でした。

土佐女子の演目は「夏の月」で、結果は最優秀賞でした。大会直前に校長に抱負を語っていた部員にとっては、まさに有言実行の快挙です。たゆまぬ努力と日々の稽古に裏付けられた自信が、このエピソードから垣間見られました。





門田ホーム 20番

辻野 つむぎ

私は、今まで受験をするための勉強と習い事の両立を続け、志望校の土佐女子中学校に合格できたことをとてもうれしく思っています。これからの中学校生活は、新しい仲間との出会い、勉強や部活動など、新たな環境に不安を感じることもありましたが、それ以上にどんな学校生活が私を待っているのだろうかという期待感に満ちあふれています。

私は、以前から土佐女子に入学したかったので、その決め手となった一番の理由は、オープンスクールの体験授業で受けた英語教育に、とても関心を持ったことです。もともと英語だけでなく、世界の国々の文化を調べたりすることも好きですが、中学になってネイティブの言葉を聞ける環境で英語を勉強できることを、とても楽しみにしています。

その背景には、私が三歳から習っているクラシックバレエが関係しています。私の将来の夢は、海外で活躍できるプロバレリーナになることです。私は本当に踊ることが好きで、受験の時にも休まずレッスンと勉強を両立させてきました。大変だったけれど好きだからこそやり遂げることができたと思います。プロになるのは簡単なことではないと分かっていますが、中学生になってバレエの基礎をから学び直し、学校でも語学を身につけて海外留学したいという希望があります。

## 土佐女子中学校に入学して

これからの中生活では、高度な内容になるにつれて勉強とバレエの両立が大変になってくると思います。でもあきらめることなく取り組んでいきたいと思っています。また、先生や仲間との交流の中でたくさん知識を学び、人としても成長できるようなばつていきたいと思っています。

## 遠足

令和五年四月二十七日(木)、春の遠足が行われました。行き先は以下の通りでした。

- 中一…高知城
- 中二…県立美術館
- 中三…わんぱくこうち
- 高一…牧野植物園
- 高二…牧野植物園
- 高三…桂浜



## 書道部

RKCSスペシャルWEEK「ハイスター」出演



去る令和4年9月6日(火)土佐女子メインアリーナでテレビ局の企画「ハイスター」の生放送が行われ、本校書道部がタレントのゴルゴ松本さんと書道パフォーマンスで共演した。今回のテーマは「言葉の力」だ。戦争やコロナで混乱する世界に向けたメッセージを筆に込めた。また日頃の気持ちを「間違ってもいい、つまずいてもいい、人生は逆転の連鎖だ。魂に花を咲かせよ」と揮毫した部員達。さらにゴルゴ松本さんが大筆で「命」の朱文字を書き込み、文字どおり作品に命を吹き込んだ。ゴルゴ松本さんは「命の授業」で全国に知られている方で、この作品の「活命」という言葉を説明し、インタビューの最後に「命」の決めポーズが炸裂して会場を沸かせた。なお、この様子は当日の番組で県下に放送された。

## ダンス部

中四国大会 2位

令和4年6月4日開催の、全国高等学校ダンスドリル選手権大会、中国・四国地区大会に出場し、HIPHOP女子部門LARGE編成で第2位となりました。



## マンガサークル部

令和4年度まんが甲子園出場



まんが甲子園は、今年で32回を数える高校ペン見たちの全国大会です。本校のマンガサークル部は、これまで三度の本選出場をしてきました。大会は4月初旬のテーマ発表から始まります。以降6月初旬の締め切りまで試行錯誤の連続です。意見を出し合い、ひねりをいくつも加えます。雑談から出る一言がひらめきを与えてくれることもしばしばです。そして、ストーリーが決まれば、無駄をそぎ落とすつつ、メッセージを込めた作品に仕上げます。

昨年度、「まさか通るまい」と迎えた予選通過校発表日。結果は、本選出場決定。本選出場決定と同時に、本選のテーマ候補五つが通知され、どれが出てよいように準備を始めます。準備に費やせるのは実質1か月。追い詰められた生徒たちは未だかつてないほど根を詰め、全てを二枚の絵に注いでいるようでした。準備を整えて臨んだ本選

は、第一次競技も敗者復活戦もあえなく敗退。真夜中まで描いた疲労で、ぐったりしているかと思えば、いつの間にか競技ブースの壁に好き放題、絵を描き始めました。飽きることなくペンを走らせる姿に感心したものです。

近年、デジタル作画のチームが増えてきましたが、土佐女子は昔ながらのアナログ作業です。時間もかかり、やり直しも「苦労です。それでも、やいのやいの言いながら、頭を突き合わせて描き続け、終わる頃には体のそこかしこが絵の具で彩られ、疲労感と共に達成感を感じる作業に、一番の思い出があるのではないかと思います。

大会直後には「もう来年はいいや」と言っていた生徒も、喉元過ぎればすっきり熱さを忘れていくようです。あの会場の熱気には、何か惹かれるものがあるのでしょうか。今年もペン見たちの暑い夏がやって来

令和5年度 高知県高校体育大会結果 (団体戦は3位以上、個人戦はインターハイの出場の者)



バドミントン部

- 学校対抗 優勝 (インターハイ出場)
- 個人ダブルス 優勝/山脇理保子・安岡七瀬組 (インターハイ出場)  
準優勝/利根美咲・西森夕華組 (インターハイ出場)
- 個人シングルス 準優勝/山脇理保子 (インターハイ出場)



卓球部

- 団体 優勝 (インターハイ出場)
- 個人 2位 /萩野夏帆 (インターハイ出場)

卓球部

- 学校対抗 2位
- シングルス 2位 /石川実鈴 (インターハイ出場)
- ダブルス 2位 /石川実鈴・西岡緩夏 (インターハイ出場)

バレーボール部

- 第3位

主な活動実績 (令和4年度)

陸上競技部

- 四国高校対校選手権大会  
【女子200m】8位  
【女子400mハードル】出場  
【女子100m】出場
- 四国中学校総合体育大会  
【女子走高跳】出場

バレーボール部

- 四国高等学校選手権大会 出場
- 高知県高等学校体育大会 第3位
- 四国中学校総合体育大会 出場
- 高知県中学校総合体育大会 優勝
- 高知県中学校春季選手権大会 優勝
- 高知県中学校秋季選手権大会 優勝

ソフトテニス部

- 四国高等学校選手権大会  
【個人ダブルス】出場
- 四国中学校総合体育大会  
【団体】出場【個人】ベスト16進出
- 高知県中学校総合体育大会  
【団体】準優勝【個人】準優勝
- 高知県中学校連盟盾大会  
【団体】優勝
- 高知県中学校秋季大会  
【個人】優勝

バドミントン部

- インターハイ  
【団体】出場【個人ダブルス】2回戦進出  
【個人シングルス】ベスト32
- 国民体育大会【少年女子】出場
- 四国高等学校選手権大会  
【団体】3位【個人ダブルス】準優勝
- 高知県高等学校体育大会  
【団体】優勝【個人ダブルス】優勝  
【個人シングルス】優勝
- 四国中学校総合体育大会  
【団体】出場
- 高知県中学校春季選手権大会  
【団体】優勝

新体操

- 四国中学校総合体育大会
- 女子個人【総合】出場
- 高知県中学校春季選手権大会 女子個人【リボン】優勝【クラブ】優勝【総合】優勝
- 高知県中学校総合体育大会 女子個人【リボン】優勝【総合】優勝
- 高知県中学校秋季選手権大会 女子個人【フープ】優勝【リボン】優勝【総合】優勝
- 高知県中学校冬季選手権大会 女子個人【フープ】優勝【リボン】優勝【総合】優勝

卓球部

- インターハイ  
【個人】2回戦進出
- 全国中学校卓球大会  
【団体】第3位【シングルス】3回戦進出
- 全国高校選抜大会  
【団体】ベスト16
- 四国高等学校卓球選手権大会  
【団体】出場【シングルス】ベスト4  
【ダブルス】ベスト8
- 全国高校選抜大会四国地区予選会  
【団体】第2位
- 四国中学校卓球大会  
【団体】第2位【個人】優勝 他
- 東京卓球選手権大会  
【個人】2回戦進出
- 大阪国際招待卓球選手権大会  
【個人】4回戦進出

水泳部

- インターハイ  
【200m自由形】出場
- 四国高等学校選手権大会  
10種目に入賞
- 四国中学校総合体育大会  
【女子100m個人メドレー】優勝  
【女子200m自由形】第3位
- 高知県中学校総合体育大会  
10種目で優勝

弓道部

- 高知県高等学校春季選手権大会  
【団体】優勝【個人】優勝
- インターハイ【個人】出場
- 四国高等学校選手権大会  
【団体】第3位【個人】準決勝進出
- 全国高等学校弓道選抜大会【個人】出場
- 高知県高等学校冬季選手権大会【個人】優勝
- 全国中学生弓道大会【団体】出場
- 高知県中学校総合体育大会【団体】優勝
- 高知県中学校秋季選抜大会【個人】優勝

ダンス部

- 全日本高校チームダンス選手権大会  
【映像予選】出場
- 全国高校ダンスドリル選手権大会  
中国四国大会【HIPHOP女子Large】2位

射撃

- ワールドカップジュニア(ドイツ大会)  
【エアピストル10m】第7位
- 全日本ライフル射撃競技選手権大会  
【ビームピストル射撃女子60発競技】優勝

テニス部

- 高知県テニス選手権  
【16歳以下 個人女子ダブルス】優勝  
【16歳以下 個人女子シングルス】優勝
- 高知県高等学校体育大会  
【団体】第3位
- 高知県中学校総合体育大会  
【団体】準優勝【個人ダブルス】第3位
- 高知県中学生選手権  
【女子ダブルス】第3位

バト部

- 全国高等学校総合文化祭  
【パレード】出場  
【マーチングバンド・バトントワリング部門】出場
- 2022 Japan Cup  
【ドリルダンス部門】第2位
- バトントワリング全国大会  
【高等学校 ポンポン編成】銀賞

コーラス部

- NHK全国学校音楽コンクール  
四国ブロックコンクール  
【高校】銅賞
- 全日本合唱コンクール  
四国支部大会【高等学校の部】金賞
- 高知合唱アンサンブルコンテスト  
【高校】金賞【中学】金賞
- 高知県合唱コンクール  
【高校】金賞【中学】金賞

吹奏楽部

- 全日本吹奏楽コンクール四国支部大会  
【高等学校A部門】銅賞
- 全日本アンサンブルコンテスト高知県大会  
【高等学校の部】金管8重奏 金賞
- 第35回全日本マーチングコンテスト  
四国支部大会【高等学校以上の部】銀賞

邦楽部

- 全国高等学校総合文化祭  
【日本音楽部門】出場
- 高知県高等学校総合文化祭  
【邦楽】金賞
- 全国小中学校箏曲コンクール  
【中学団体の部】審査員奨励賞

マンガサークル

- 全国高等学校漫画選手権大会本選  
【団体】出場

演劇部

- 高知県高等学校演劇コンクール  
包国賞

書道部

- 高野山競書大会  
高野山管長賞・全日本書道連盟賞・南山賞
- 高門宮杯日本武道館書道大展開覧会  
全国都道府県教育長協議会賞、日本武道館賞
- 国際高校生選抜書展 大賞
- 全国学生書道展【半紙の部】大賞
- 高校生国際美術展  
高校生国際美術展実行委員会名誉会長賞
- 安芸全国書展高校生大会  
恩地春洋賞、書道美術館館賞、優秀賞
- 全国書道展(岐阜女子大学主催) 準大賞
- 全国高校書道パフォーマンスグランプリ  
西四国大会 準優勝

放送部

- NHK杯全国高等学校放送コンテスト  
アナウンス・朗読・テレビ  
ドラマの各部門に出場
- 全国高等学校総合文化祭  
【放送部門】アナウンス部門 出場
- NHK杯全国中学校放送コンテスト  
アナウンス部門に出場

華道部

- 第1回小原流学生いけばな競技会  
中国・四国地区大会【団体】優勝
- 小原流学生いけばな競技会全国大会  
【団体】第7位

囲碁部

- 全国高等学校総合文化祭  
【個人】出場
- 全国高等学校囲碁選手権大会  
【団体】出場【個人】出場
- 四国地区高校囲碁大会  
【団体】優勝
- 全国高等学校囲碁選抜大会  
【団体】出場

ピアノ・エレクトーン部

- 日本パッサココンクール全国大会  
【高校B部門・ソロ】銀賞
- ピティナ・ピアノコンペティション  
地区本選【ソロ】入選
- ショパン国際ピアノコンクール  
in ASIA 全国大会【ソロ】高校生部門 出場
- LLAピアノコンクール  
【連弾】銀賞(優秀者コンサート出演)